

FUKUROI DIARY

ふくろい日記帳

最先端の科学・工学を体験 市民体験入学

8月23日、静岡理工科大学で「市民体験入学」が開催され、多くの市民が、最先端の科学・工学の世界を体験しました。

「大学を活かしたまちづくり」の一環として、大学と市が共同し、毎年開催しているもので、全体講義の聴講やコースごとに分かれての各実験などを体験。「電気自動車」のモーター制御では、大学教員の説明を受けながら参加者が、簡単な回路を使って小型モーターを制御する基盤作り挑戦し、ハンダ付けなどの慣れない作業ながらも基盤を完成させました。



また戻ってきてね ウミガメ放流

9月6日、同笠海岸で、市内の親子約190人が参加して、アカウミガメの放流会が行われました。

始めに、サンクチュアリNPOの講師から海環境・ゴミ問題など、アカウミガメを取り巻く環境について学習。場所を海岸へ移して、アカウミガメの持ち方を教えてもらおうと、真剣な表情で1匹ずつ受け取り、写真撮影や観察をした後、一斉に放流しました。

アカウミガメたちが元気に海に向かって歩き出すと、参加者たちは、アカウミガメの姿が海の中に消えるまで、手を振っていました。



ゴミはどうへ？ ゴみの出前教室

9月4日、袋井東小学校で「ごみの出前教室」が行われ、4年生児童52人がごみについて学習しました。

環境学習の一環として行われているもので、児童たちは、収集業者と市職員から、ごみの分別のしかたや処理方法などについて教わった後、パッカー車へのごみの投げ入れを体験。ごみの処理にかかる時間と経費に驚きながら、ごみの分別の大切さや減量の必要性について学びました。



まちの話題・ニュースやできごとをご紹介します!

はし・おわん

ちゃんと持てるかな

8月26日、月見の里学遊館で「4・5歳児の食育クッキング」が開催されました。

食育推進事業の一環として行っているもので、この日は「食事の作法」を身に付ける講座に市内の幼児15人が挑戦。講師から、正しい座り方、はしやおわんの持ち方などを教わり、真剣な表情で練習に取り組みました。最後は、練習したことに注意しながら、ご飯やおかず、汁物をいただき、正しい食の作法を身に付けました。



先生は高校生 高齢者がパソコンに挑戦!

8月25日、袋井商業高校で、同校日本語ワープロ部の生徒が講師となり、高齢者パソコン教室が行われました。高齢の方にもパソコンに触れる機会を持つてもらい、世代間交流を推進しようと市が企画し、市内の60〜83歳の20人が参加。高校生が受講者のレベルに合わせて、電源の入れ方から文書の作成、インターネットの閲覧などをマンツーマンで、丁寧に指導しました。初めてパソコンに触る高齢者もいましたが、悪戦苦闘しながらもパソコンを楽しんでいました。



交通ルール守ってね

8月26日、ブラジル人学校「エスコラコニエセル」で、交通安全教室が行われ、児童38人が交通ルールを学びました。

警田警察署の交通指導員や浜松中央署の外国人交通安全教育指導員が、安全な道路の歩き方や自転車の乗り方などを講義と実技を交えて指導。子どもたちは、校庭に設けられた信号機と横断歩道を使い、左右をよく確認し、手を挙げて渡るなど、交通ルールを守ることを大切に学びました。

